

確実な穂肥施用と水管理で 後期栄養確保！

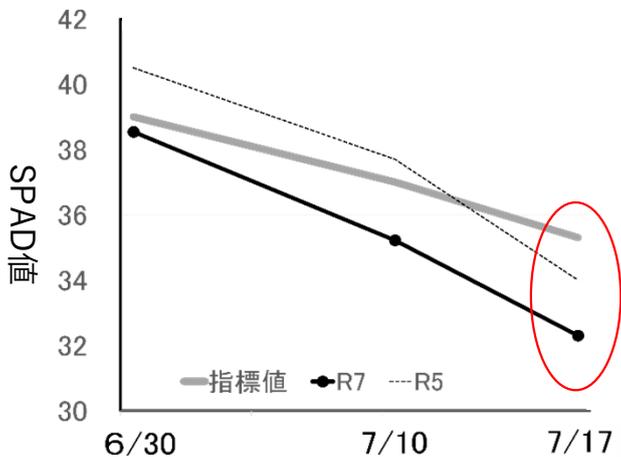


図 葉色の推移 (管内10か所平均)

本年は、品質低下した令和5年より葉色が淡い。



異常高温による被害を防止するために穂肥と飽水管理で後期栄養を確保しましょう。

(1) 2回目穂肥はただちに施用

○ 分施肥系

・ 2回目穂肥をまだ施用していない場合は、ただちに施用しましょう。

○ 基肥一発体系

・ 出穂期の葉色 (SPAD値) が32~33を下回ると予想される場合は、ただちに追加穂肥を施用しましょう。

○ 葉色はかなり薄い場合や、3回目穂肥の対応が難しい場合は、2回目穂肥を増量しましょう。 (窒素成分で2kg/10aまで)

表 コシヒカリの2回目穂肥の標準的施用量

N成分量	[施用例] 越後の輝き有機30穂肥
1 ~ 1.5 kg/10a	8.3 ~ 12.5 kg/10a

表 田植日と出穂期 (予想)

田植日	5月15日	5月20日	5月25日
出穂期	8月2日	8月4日	8月6日

(2) 葉色が薄い場合は、3回目穂肥を走り穂が出る頃までに施用

○ 2回目穂肥施用後も、葉色が薄い場合は、分施肥系、基肥一発体系いずれの場合も、速効性肥料で追加穂肥 (3回目穂肥) を施用し、後期栄養を確保しましょう。

※ 特別栽培米で計画にない追加穂肥や施用量を増やす場合は所定の手続きを行ってください。

表 コシヒカリの追加穂肥 (3回目穂肥) 施用めやす

追加穂肥が必要な稲姿	施肥時期	施肥量	施肥例
○ 分施肥系 ・ 出穂期3日前の葉色 (SPAD値) が31以下のとき。 ○ 基肥一発体系 ・ 出穂期の葉色 (SPAD値) が32~33を下回ると予想される場合。	出穂期3日前 (走り穂が出る頃) まで	N成分量 1kg/10a	硫安(N成分21%) 4.7kg/10a
			化成肥料(N成分14%) 7.1kg/10a

(3) 出穂期前後は最も水を必要とする時期！飽水管理を徹底！

限りある用水を大切に！

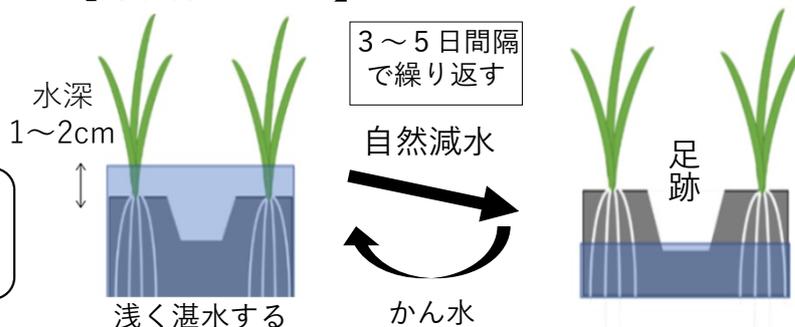
- こまめな水回りを行うとともに、末端のほ場まで用水が行き渡るように、ほ場全体に水が行き渡ったら水口を止めましょう。
- 番水やローテーションで用水を有効に利用するなど節水を心掛け、かけ流しは絶対にやめましょう。

- 出穂期前後は最も水を必要とする時期です。
- 地力窒素の発現を促し、後期栄養を維持するために、可能な限り出穂期25日後までは飽水管理を継続しましょう。

飽水管理とは…

水尻は止水し、自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が残る程度になったらかん水する。

【飽水管理の方法】



輪番、番水など、地域の水管理体制を再確認しよう！

(4) 斑点米カメムシ類を適期に防除しましょう

- 本年はアカスジカスミカメが平年より多い状況が続いています。
- 薬剤防除は、各薬剤の適期に実施しましょう。
- 水面施用粒剤は、防除効果を確保するために、水深3cm程度の浅水条件でできるだけ散布後好天が予想される日に散布しましょう。
- 用水が不足するほ場では、液剤等、粒剤以外を使いましょう。

【QRコードを読み取り稲作情報を確認しよう】

JA魚沼 北魚沼地区
営農情報(LINE)はこちら→



お問い合わせ先

JA魚沼北魚沼基幹営農センター 025-793-1770
(SPADの貸し出しもJAで行っています)

魚沼農業普及指導センター
HP稲作情報はこちら→



魚沼農業普及指導センター 025-792-1309

熱中症対策を必ず実施しましょう

- ・ こまめな水分・塩分補給
- ・ 朝など涼しい時間帯に作業



つばの大きい帽子や、吸湿速乾燥性の衣服、空調服などのアイテムを活用して、熱中症対策をしよう！